

☆小中一貫教育について

北広島市の小中一貫教育とは？

小学校・中学校の9年間を通して目指す子ども像を各中学校区で共有し、小学校と中学校のつながりのある教育活動を行っていきます。既存の教育の枠組みを活かしながら、9年間の一貫した指導計画による教科指導などを行い、これまで以上に小学校と中学校のつながりを強くします。

小中一貫教育を行う背景

小中一貫教育は、義務教育9年間を通して、学校・家庭・地域が一緒に子どもたちを育てていくことを目的としています。取り組みを進めることで、学習内容や学習活動の質的・量的な変化への対応が図られ、また、子どもが中学校に進学する際の大きな環境の変化を和らげることにより、新しい環境への適応につなげます。

■北広島市の小中一貫教育 全体のイメージ

北広島市のめざす子ども像

大志をいただき 心豊かに たくましく 生きる子ども

ねらい 学校・家庭・地域が一体となって「子どもの連続した学び」を支える体制を作り、「生きる力」を育成します。



1 「**学び**」が繋がります。
学力・体力向上に関する取組

2 「**大志**」が繋がります。
9年間で学ぶキャリア教育

3 「**人と人**」が繋がります。
子ども同士、地域等との交流活動

★小中一貫教育推進の進め方～3つの「つなぐ」

① 学力・体力向上を図る連続した**学習活動の充実**

学びを
つなぐ

- 1 9年間を見通した一貫した教育課程の編成と実施
- 2 中学校区「スタンダード」による学習・生活規律や習慣の定着
- 3 学習指導体制（乗り入れ授業、一部教科担任制）等の工夫

② 「**大志学**」(キャリア教育)の**充実**

大志を
つなぐ

- 1 夢や目標に向かって挑戦する心を育てる「きたひろ夢ノート」
- 2 地域の教育資源を有効活用したキャリア発達を促す教育活動の充実
- 3 9年間で学ぶ「大志学」（キャリア教育）の実施

③ 児童生徒、教職員間、**地域との交流活動の充実**

- 1 児童生徒間の異世代交流など多彩な交流活動による、豊かな人間関係づくり、コミュニケーション能力の向上
- 2 地域との合同行事や貢献活動などによる自己有用感の醸成
- 3 教職員同士の交流や合同研修による協働体制の確立



「西の里中学校区小中一貫教育」



『スローガン』 笑顔、温もり、未来へつなげる里っ子バトン

(笑 顔)
(温 も り)
(未来へつなげる)
(里っ子バトン)

子どもたちが「できた」「わかった」「やった」という気持ちを、
良き人間関係の中で味わいながら、
夢の実現や自立に必要な資質・能力を身につけさせる教育を、
小中学校が一体となって進めていく。

『西の里スタンダード』

- ・ **挨拶** ~ 人を大切にすること（思いやり、優しさ、協力、感謝、礼儀…等々）
- ・ **安全** ~ 命を大切にすること（「自分の命は自分で守る」、いじめの否定…等々）
- ・ **後始末** ~ 物を大切にすること（学校への感謝、心のこもった清掃…等々）

3つの「あ」

西の里の目指す子ども像

(知)

自分と向き合い、学び続ける人に

- ・ 課題に向かい、自ら解決する態度を身につけます。
- ・ 自他共に高め合う集団を目指します。

(徳)

思いやりの心を持ち、誰とでも助け合う人に

- ・ 困っている人は助け、してもらったことには感謝できる人になります。
- ・ 相手の話をきちんと聞き、公平な立場で判断します。

(体)

正しい生活習慣を身につけ心も体も健康な人に

- ・ 望ましい生活習慣を身につけ、体力の向上に努めます。
- ・ ケータイ・スマホ等の約束を守り、生活リズムを整えます。

西の里小学校 & 西の里中学校

